

林地の保育に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 下刈りは、雑草木の成長量が大きい時期をはさんで6～7月頃と9～10月頃に行うのがよい。
2. 生産力の低い林地では、造林木の樹冠の閉鎖が遅れるため、下刈り期間が長くなる傾向がある。
3. 一般に、つる切りの期間が終わっても下刈りが必要であることが多い。
4. つる切りは、つる性植物の成長がとまった9～11月頃に行うのがよい。
5. 造林木の枝打ちは、成長が盛んな4～6月頃に行うのがよい。

次の記述 a～c は、海岸防災林の東日本大震災による被害と復旧・再生について述べたものである。各記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- a. 地盤が低く地下水位が高い場所の海岸防災林では、津波によって、根返りし、流木化した樹木が多数確認された。
- b. 海岸防災林に使われた樹木のうちでは、針葉樹の損傷や流出が著しかったことから、林野庁は海岸防災林の再生に当たっては専ら広葉樹を苗木に利用することとした。
- c. 復興庁は、海岸防災林の復旧・再生については地域の復興計画との整合性を図りつつ、全体の復旧をおおむね5年間までに完了することとした。

	a	b	c
1.	正	正	誤
2.	正	誤	正
3.	正	誤	誤
4.	誤	正	正
5.	誤	正	誤